

事業計画書

令和 4 年〇月〇日

AOI プロジェクト技術シーズ活用型事業化促進事業に関する事業計画書を提出します。

なお、応募資格をすべて満たしていることを誓約するとともに、本記載内容について偽りが無いこと、履行が可能であることを証します。

静岡県知事 川勝 平太 様

所在地 静岡県〇〇市〇〇
名称 株式会社〇〇〇〇
代表者職名 代表取締役社長
氏名 〇〇 〇〇

押印不要

本補助事業に係る業務の責任を負うとともに、静岡県との連絡調整を担う者を記載する。

(業務責任者)

所属・職名 株式会社〇〇〇〇
氏名 〇〇 〇〇
電話番号 〇〇-〇〇-〇〇
E-mail 〇〇〇〇〇〇

※ フォントは MS 明朝、10.5 ポイント、行間は 1 行で記載してください。

※ アプリケーションソフトは、原則 MS-Word を使用し、適宜、MS-Excel、MS-Power Point を使用して作成してください。

※ 規格は A4 とします。

責任者 職・氏名：

作成者 職・氏名：

責任者と作成者を記載する。

1 概要

(1) 事業計画の名称

名称は、採択された場合に公表を予定していることから、公表を前提として、分かりやすい表現で記載する。

(2) 事業計画の概要（文字数 150 字程度）

（事業化の内容や技術シーズの活用方法等について簡潔に記載してください。）

概要は、採択された場合に公表を予定していることから、公表を前提として、簡潔に分かりやすい表現で記載（文字数 150 字程度）する。

(3) 年度別補助対象経費

（単位：円）

費用	令和4年度 (3年目)	計
補助対象経費	18,000,000	42,000,000
補助金所要額	10,000,000	26,000,000

※ 補助事業期間に応じて記載してください。

※ 補助金所要額は、補助対象経費の3分の2以内とし、480万円を上限としてください。

本追加募集では480万円を上限とする。

(4) 事業の背景と目的

（現場の課題やニーズ、市場動向等、社会的・技術的背景を踏まえて簡潔に記載してください。）

今回の事業を実施する背景や目的について、農業現場の課題やニーズ、市場動向等、社会的・技術的背景を踏まえて記載する。

2 目指す事業化の内
(1) 事業化の内容

対象とする農産物名や製品等の具体的な名称を入れた件名を記載する。

・事業開始から3年以内になっていること。
・「未定」は不可とし、必ず目標年度を記入すること。

事業化案件名 ^{※1}	事業化の内容	事業化目標年度 ^{※2}
〇〇を利用した□□の低コスト栽培装置の開発	事業化案件名では表しきれない事業化(商品化・サービス化)の内容について具体的な説明を記載する。	令和4年度
△△成分を高含有する〇〇の栽培コンサルティング事業		令和5年度

事業化から2年後、5年後、10年後の経済的効果を記載する。また、事業化年度の異なる複数の事業化案件がある場合は、最も早い事業化年度を起点に記載する。

※1 目指す事業化の内容を件名として表現してください。
※2 事業化目標年度は、事業開始から5年以内

(2) 事業化により期待される経済的効果(積算値)^{※1}

区 分	令和6年度 (事業化2年後)	令和9年度 (事業化5年後)	令和14年度 (事業化10年後)
農業及び関連産業生産額等の増加額(A)	5,000万円	25,000万円	50,000万円
上記のうち、静岡県内における増加額(B)	3,500万円	20,000万円	30,000万円
静岡県内の経済的効果の割合(B/A) ^{※2}	70%	80%	60%

※1 事業化した2年後、5年後、10年後に期待される経済的効果(生産額等の増加額)を記載してください。
※2 小数点第1位を四捨五入して記載してください。

(3) 経済的効果の算出根拠

「(2) 事業化により期待される経済的効果」について、「農業及び関連産業生産額等の増加額(A)」及び「上記のうち、静岡県内における増加額(B)」のそれぞれの積算根拠を記載してください。

対象とする市場規模や販売単価、販売量等から、事業化により期待される経済的効果(生産額、販売額等の増加)見込額を具体的に算出すること。また、経年的にどのように推移(増加)するのかなど、算出根拠を具体的に記載すること。

3 事業展開について

(1) 事業展開を想定している市場の概要と販売方法

商品又はサービスの販売先や販売方法等について、その計画を記載する。

(2) 事業化内容の新規性や優位性

(事業化の内容が、他の類似商品やサービスと比較して、新規性や優位性がどの程度あるのかを簡潔に記載してください。)

今回の事業化の内容が、他の類似商品やサービスと比較して、新規性や優位性がどの程度あるのかを簡潔に記載する。

(3) これまでの取組状況

(開発の基盤となる技術やこれまでの開発状況を記載してください。)

今回の事業化の基盤となる自社の技術を記載する。
また、これまで開発を継続してきた場合は、その開発状況を記載する。

(4) 技術的課題及びその解決方法

(事業化のために解決すべき技術的な課題がある場合は、その概要と課題に対する解決方法を記載してください。)

技術的な課題がある場合に記載する。

(5) 生産性向上の寄与度

(期待される農産物等の生産性向上の効果について、できる限り定量的(数値化して)に記載してください。)

農産物の品質、機能性若しくは収量の向上又は生産コストの低減への効果について、具体的に記載する。

※ 本事業における生産性向上とは、品質の向上、機能性の向上、収量の向上、生産コストの低減を目的としたものに限りません。

4 役割分担の合理性

(1) 申請者の概要

名称	株式会社〇〇〇〇	
所在地	静岡県〇〇市〇〇	
代表者職・氏名	代表取締役社長 〇〇 〇〇	
所在地が静岡県以外 の者で、県内に 事務所又は事業 所がある場合	名称	
	所在地	本社の所在地が静岡県以外の場合のみ記載する。
計画の実現を可能とする 実績又は能力を記載	事業化を実現させるための自社の実績や能力（設備、人材等） を具体的に記載する。	

本社の所在地を記載する。

本社の所在地が静岡県以外の場合のみ記載する。

事業化を実現させるための自社の実績や能力（設備、人材等）
を具体的に記載する。

(2) 技術シーズの活用

(学術・研究機関から提供を受ける技術シーズの内容、活用方法について具体的に記載してください。)

技術シーズの提供を受ける 学術・研究機関名	
技術シーズの内容	
事業化に向けた 技術シーズの活用方法 及び学術・研究機関 との役割分担	事業化に向けて、学術・研究機関の技術シーズをどのように活 用するのかを具体的に記載する。 また、技術シーズの提供を含め、学術・研究機関が事業化の取 組に果たす役割を記載する。

事業化に向けて、学術・研究機関の技術シーズをどのように活
用するのかを具体的に記載する。
また、技術シーズの提供を含め、学術・研究機関が事業化の取
組に果たす役割を記載する。

(3) その他の協力企業等

(事業化のために協力する企業等が居る場合は、その名称と担当する役割を記載してください。)

協力企業等の名称	株式会社〇〇〇〇〇〇	〇〇大学	
役割分担	コンソーシアムを組むなど、学術・研究機関以外と事業化に向け て協力する企業や団体等がある場合、その名称と担当する役割を 記載する。		

5 適切な事業化工程
(1) 全体スケジュール

2の(1)の事業化案件名を記載する。

区 分 ^{※1}	事業内容 (補助対象期間)		事業内容 (補助事業終了から事業化まで)		事業化 目標年度 ^{※2}
	令和4年度 (3年目)		令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)	
1 ○○を利用した□□の低コスト栽培装置の開発 (1) システムの検討・開発 (2) 低コスト栽培装置の試作機製造 (3) 試験栽培・評価	給肥制御システムの検討				令和5年度
2 △△成分を高含有する○○の栽培コンサルティング事業 (1) (2) (3) (4)					令和6年度
3 (1) (2) (3) (4)					年度

矢印や線を利用して記載する。
必要に応じて、事業内容欄に字句を用いて補足表記する。

5の(2)の年度別事業内容の「実施内容」と一致した表現で記載する。

※1 区分欄は、整数部分に事業化案件名、()数字部分に事業化までに必要な工程を具体的に記載してください。
 ※2 事業化目標年度は、事業開始から5年以内としてください。

2の(1)に記載した事業化案件名を記載する。複数の事業化案件がある場合は案件ごとに作成する。

(2) 工程の内訳 (事業化案件ごとに作成してください。)

事業化案件名	〇〇を利用した□□の低コスト栽培装置の開発
--------	-----------------------

年度別事業内容

令和4年度	実施内容	(1) 〇〇を利用した□□の低コスト栽培装置を制御するためのシステムの検討及び開発を行う。 (2) 低コスト栽培装置の試作機製造に着手する。(令和3年度の試作機完成予定)
	到達目標	(1) 制御システムの完成。 (2) 試作機の設計を完了。
	達成度の判断基準※2	(1) 制御システムのプログラムと制御用基盤を完成させる。 (2) 試作機製造のための設計図を完成させる。
	補助対象経費	〇〇〇〇〇〇円
令和5年度	実施内容	事業化案件名ごとに各年度における「実施内容」を記載し、5の(1)の事業内容と一致する。
	到達目標	各年度末において、どこまでの状態にすることを旨とするのかを具体的に記載するとともに、事業進捗の評価が可能な判断基準を設定する。
	達成度の判断基準※2	事業化案件ごとに補助対象経費を記載する。 また、複数の案件がある場合は、案件ごとの補助対象経費の合計が、1の(3)の当該年度の補助対象経費と一致すること。
	補助対象経費	円
令和5年度	実施内容	
令和6年度	実施内容	

※1 「(1) 全体スケジュール」の事業化案件名及び工程内容と一致するように記載してください。

※2 到達目標に対する達成度をどのような基準で判断するかを記載してください。

6 費用対効果

(1) 経済効果とコストバランス

補助対象経費合計 ^{※1} (C)	4,200 万円
補助金所要額合計 ^{※1} (C')	2,600 万円

事業計画書の1の(3)の合計欄の金額と一致しているか。

事業計画書の2の(2)の合計欄の金額と一致しているか。

区 分		令和6年度 (事業化2年後)	令和9年度 (事業化5年後)	令和14年度 (事業化10年後)
農業及び関連産業 生産額等の増加額 ^{※2} (A)	金額	5,000 万円	25,000 万円	50,000 万円
	A/C	1.19	5.95	11.90
	A/C'	1.92	9.62	19.23
静岡県内における増加額 ^{※2} (B)	金額	3,500 万円	20,000 万円	30,000 万円
	B/C	0.83	4.76	7.14
	B/C'	1.35	7.69	11.54

※1 「1の(3)」の計と整合させてください。

※2 「2(2)」の値と整合させてください。(小数点第3位を四捨五入して記載してください。)

(2) コスト抑制の工夫

(補助対象経費や補助金所要額を積算する上で、コスト抑制の工夫を行った内容があれば記載してください。)

コスト抑制のための工夫を行っている場合は、その内容や効果を記載する。

7 収支予算書

(1) 総括表

収入			
科目	金額	科目	金額
県補助金	10,000,000 円	原材料費	3,500,000 円
自己資金	5,000,000 円	機械装置購入等経費	7,000,000 円
借入金	円	産業財産権関連費	円
その他	円	外注費	円
計	15,000,000 円	構築物購入等経費	円
		技術コンサルタント料	円
		委託費	4,500,000 円
		その他	円
		計	15,000,000 円

事業計画書の1の「補助金所要額」と一致しているか。

事業計画書の1の(3)の「補助対象経費」と一致しているか。

収入の「計」の金額と一致しているか。

(2) 科目別支出内訳

ア 原材料費

項目	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	備考
〇〇〇〇	〇〇〇〇	35コ	100,000	3,500,000	
計				3,500,000	

イ 機械装置購入等経費

項目	仕様	数量	単価(円)	金額(円)	備考
〇〇〇〇	〇〇〇〇	1台	7,000,000	7,000,000	
計				7,000,000	

ウ 産業財産権関連費

項目	内容	金額(円)	備考
計			

エ 外注費

項目	内容	金額(円)	備考
計			

オ 構築物購入等経費

項目	仕様	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
計					

カ 技術コンサルタント料

項目	内容	金額 (円)	備考
計			

キ 委託費

項目	内容	金額 (円)	備考
〇〇〇〇委託	〇〇機器の設計に関する業務委託	4,500,000	
計		4,500,000	

ク その他

項目	仕様	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
計					

8 資金状況調べ

区分 月別	収 入			支 出				差引 残高
	県補助金	自己資金	計	原材料費	機械装置 購入等経 費	委託費	計	
8月	円 0	円 3,000,000	円 3,000,000	円 3,000,000	円 0	円 0	円 3,000,000	円 0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	500,000	500,000	500,000	0	0	500,000	0
11月	0	7,000,000	7,000,000	0	7,000,000	0	7,000,000	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	4,500,000	4,500,000	0	0	4,500,000	4,500,000	0
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	10,000,000	△10,000,000	0	0	0	0	0	0
月								
月								
計	10,000,000	5,000,000	15,000,000	3,500,000	7,000,000	4,500,000	15,000,000	0

(注) 未経過の月分については、見込額を計上してください。